



浪高だより

Aomori Pref. Namioka High School

第 1 号 4 月 26 日 発

〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-2

TEL 0172-62-4051(代表) fax 0172-62-1556

<http://www.namioka-h.asn.ed.jp/>

2020

創立90周年

浪岡高校

平成31年度 青森県立浪岡高等学校『入学式』

平成最後の入学式が行われ、普通科36名が、神卓哉校長より入学を許可され浪高生としての新たなスタートを切りました。式辞の中で、校長先生は、来年度に創立90周年を迎える伝統校であり、本校のさらなる発展のために学業や部活動に励み、人間力の向上を目指して欲しいことを述べるとともに、本田宗一郎の言葉を取り上げ、「時間だけは神様が平等に与えてくださった。これをいかにうまく利用した人がこの世の成功者なのだ。」と話し、高校卒業後、自分の希望する道に進むことができるかどうかは、毎日の過ごし方、日々の積み重ねとしての3年間の過ごし方次第であるということ进行了語りました。

校長先生の式辞に続き、新入生を代表して清水大洋君が、仲間とともに協力し合い、学業や部活動に全力で取り組んでいきます。また、明確な目標を持ち、高校生としての自覚を忘れることなく、社会と学校の規則を守りながら、充実した高校生活を送ることを力強く誓いました。高校生活で勉強は当然であります、生涯にわたり助け合い、支え合える真の友達を見つけ、人との絆を深めることをお願いします。



【新入生宣誓:清水大洋】



【1学年団】

『1学年 STAFF』紹介 学年主任 坪田 由紀子 (1組担任を兼任)

1組担任	坪田 由紀子 先生 (家庭)	1組副担任	平野 萩子 先生 (数学)
2組担任	遠嶋 浩昭 先生 (保体)	2組副担任	傳法 光久 先生 (地歴)
学年付	小山内 剛 先生 (理科)	学年付	鳴海 健彦 先生 (英語)

『始業式・対面式』・・・4月9日(月)

新入生36名、2学年60名、3学年52名、計148名の全校生徒が第1体育館に集合し、平成31年度第1学期始業式を行いました。式辞の中で校長先生は、卒業生の進路状況を説明し、早めの取り組みと人間性が大切であることを話していました。また、当たり前のことではありますが、「挨拶・掃除・礼儀」をしっかり身につけ浪高生としての自覚と地域の学校として自慢できるように一生懸命やること。「晴れの日も雨の日もあるから野菜は元気に育つ・人間もおなじである。」生徒の皆さん、将来を見据えて学校生活で頑張ることをお願いしていました。

始業式に続いて、生徒会の進行により、新入生と2・3年生が向かい合い対面式が行われました。生徒会長の木村新志君から、歓迎の言葉が述べられ、時間と友を大切に、勉強・部活動に精一杯励み後悔しないように3年先を見据えて取り組んでいこうと呼びかけました。これに対して、新入生代表の高坂琉衣さんは、先輩たちの温かい励ましや声かけを受けながら、勉強や部活動、学校行事などに取り組み、高校卒業後の自分を想像し、悔いのない高校生活を送りたいと述べました。一日も早く学校生活に慣れ一緒になって、浪高を盛り上げて欲しいと思います。

『部活動紹介』・・・4月9日(月) <放課後>

放課後、第1体育館において各部・同好会による活動紹介が行われました。生徒会の進行のもと、日本音楽部による箏の演奏から始まり、ユニホーム姿の2・3年生が、新入生を前に練習内容の紹介や趣向を凝らした発表を行い部員の確保に向けてアピールしました。また、北畠祭りの囃子方のお願いもありました。部活動を通して自分を成長させ多くの仲間と触れ合い高校生活を充実させるために積極的に部活動に参加しましょう。



【日本音楽部】



【柔道部】



【美術部】



【木村新志くん】



【高坂琉衣さん】



【新入生】

祝

第47回 全国高等学校選抜バドミントン大会 男子団体：優勝

シングルス（奈良岡功大）優勝（2連覇） ダブルス（奈良岡功大・武藤映樹）優勝

3月24日（日）～27日（水）に茨城県ひたちなか市総合体育館で行われた、第47回全国高等学校選抜バドミントン大会において厳しい戦いを制し、バドミントン部が悲願の初優勝を成し遂げました。また、個人戦ダブルスでは奈良岡功大君（3年）・武藤映樹君（3年）ペアが優勝、シングルスで奈良岡君が大会2連覇を果たすなど最高の成績を修めました。団体戦の準決勝、決勝戦は、応援団を緊張させ3対2の接戦の試合展開となりましたが、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し実力を見せつけ応援団を安心させました。奈良岡君は団体、個人戦4日間で、男子最多の合計18試合を戦い抜き「気力・体力・精神力」の違いを証明し、多くの会場の方々に感動を与えました。8月のインターハイの前哨戦とも言える大会であり、今後も努力精進を重ねインターハイでも優勝、そして、世界で活躍することを期待しています。今後のバドミントン部の健闘を祈ります。

<団 体>

準々決勝 浪 岡 3-0 高岡第一（富山）

準 決 勝 浪 岡 3-2 埼玉栄（埼玉）

決 勝 浪 岡 3-2 聖ウルスラ学院英智（宮城）

<個人：ダブルス>

決 勝 奈良岡・武 藤 2-0 小 川・樋 口（宮崎）

<個人：シングルス>

決 勝 奈良岡 2-0 泰 野（埼玉栄）



【悲願の全国優勝を達成】



【優勝が決まり喜ぶ選手達】



【全国大会初優勝の奈良岡・武藤】

バドミントン部『報告会』・・・4月18日（木）

全国高等学校選抜バドミントン大会において、団体初優勝・ダブルス優勝・シングルス優勝の三冠を達成した選手達を歓迎し、報告会が行われました。報告会では監督、選手が入場すると大きな拍手で、全校生徒が選手を迎え、選手も胸を張って入場していました。奈良岡監督から日本一を目標に取り組み、一人一人が自分の役割を果たすことができ優勝をすることが出来ました。次の目標に向け、地域と一体となって達成できるように努力したいと語っていました。続いて主将の大平啓人くんからは日本一を目指し、常に部員で話し合いを持つことで、変化が見られ部員が一丸となり優勝することができました。これも監督、コーチ、保護者や皆さんの応援により達成できたことに感謝し、インターハイ優勝に向け頑張りますと報告していました。目標である8月のインターハイも優勝できるように、生徒・保護者・地域の皆が応援していますので、期待に応えるようにお願いします。



『教育長表敬訪問』・・・4月24日（水）

選手8名（大平・奈良岡・武藤・久慈・渡邊・八岩・飛田・江口）と神卓哉校長、鳴海健彦顧問、が全国選抜大会優勝を和嶋延寿教育長に報告しました。教育長からは、「優勝の結果が県民や青森県の部活動の励みになっているので、今後も全国大会での活躍を期待しています。」と祝福のことがあり、選手を代表して奈良岡君がインターハイ優勝への抱負を語りました。



『奈良岡功大（3年）国際大会で活躍！』

ラオスインターナショナル2019 優勝

2月19日（火）～24日（日）

ジャマイカインターナショナル2019 優勝

3月 7日（木）～10日（日）

ベトナムインターナショナル2019 3位

4月 9日（火）～14日（日）